

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 地理・歴史 科目 地理総合

教 科： 地理・歴史 科 目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （ 組：田中 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書： （ 高等学校 新地理総合（帝国703） ）

教科 地理・歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】進路実現に向けての基礎的・基本的知識の定着させ、GIS等を用いる技能を習得させる。

【思考力、判断力、表現力等】社会的な課題を追究・解決する思考・判断の力と、それを的確に表現する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】広い視野に立ちグローバル化する国際社会において主体的に生きる人間性を身に付けさせる。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代世界の地域的特色に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意義や特色、相互の関連を多角的に考察し課題の解決に向けて構想する力や、それらを効果的に表現する力を養う。	地理に関わる諸事象からよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、世界の多様な文化を尊重する人間性を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1「結びつきを深める現代世界」 【知識及び技能】 さまざまな地図の読図などを基に、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 主題を設定し、世界の視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の地図からみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・現代世界の国家と日本の位置や領域 ・国家間の結び付き、主に貿易や交通網、通信網の観点から ・グローバル化にともなう課題 ・到着次第、一人1台端末を活用する	【知識・技能】 地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域の位置や範囲などに着目して主題を設定し、日本の位置や国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に世界でみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	単元2「地図と地理情報システム」 【知識及び技能】 さまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解し、その情報をまとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムから読み取ることができる情報に着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムを基に読み取ることができる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類 ・地図帳と地図情報システムの活用 ・一人1台端末を活用する	【知識・技能】 さまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報をまとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムの情報に着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムから読み取ることができる情報から課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	単元3「生活文化の多様性と国際理解」 【知識及び技能】 世界の人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことを理解し、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・世界の地形や気候と人々の生活 ・世界の言語・宗教と人々の生活 ・歴史的背景と人々の生活 ・世界の産業と人々の生活 ・さまざまな課題について、一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 世界の人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことについて理解し、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

2 学 期	単元4「地球的課題と国際協力」 【知識及び技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の関連性などについて大観し理解し、持続可能な社会の実現を目指した国際協力の在り方などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・複雑に絡み合う地域と課題 ・地球環境保全の現状と課題 ・資源・エネルギー問題の現状と課題 ・人口、食料、都市・居住問題 ・さまざまな課題について、一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の関連性などについて大観し理解し、持続可能な社会の実現を目指した国際協力の在り方などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	単元5「さまざまな地域的課題についての探究学習」 【知識及び技能】 さまざまな国や地域における地理的課題について理解し、持続可能な社会の実現を目指した課題解決について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな国や地域における地理的課題について持続可能な社会づくりに着目して自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな国や地域における地理的課題について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・生徒が自ら主体的に設定した主題 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 さまざまな国や地域における地理的課題について理解し、持続可能な社会の実現を目指した課題解決について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな国や地域における地理的課題について持続可能な社会づくりに着目して自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな国や地域における地理的課題について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

3 学 期	単元6「自然環境と防災」 【知識及び技能】 日本や世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、備えや対応の重要性などについて理解し、ハザードマップなどを活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異などに着目して主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・日本や世界の自然環境 ・地震・津波・火山と防災 ・気象災害と防災 ・さまざまな地図を活用した備え ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 日本や世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、備えや対応の重要性などについて理解し、ハザードマップなどを活用する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異などに着目して主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	単元7「生活圏の調査と地域の展望」 【知識及び技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について、地域の成り立ちや変容に着目して主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・生活圏の調査の技法とまとめ方 ・生活圏の課題及びその解決 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について、地域の成り立ちや変容に着目して主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1 合計 70

年間授業計画

成瀬高等学校令和6年度（第1学年用）教科地理歴史科目歴史総合

対象学年組：第1学年1組～7組

単位数：3単位

使用教科書：（現代の歴史総合みる・読みとく・考える（山川708））

教科地理歴史の目標：

- 【知識及び技能】社会的な見方・考え方を働かせる土台となる知識技能を身に着ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立って思考し、相手に伝わる表現力を身に着ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に着ける

科目歴史総合の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本や世界の歴史の展開に関して理解するとともに、歴史的な原典や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	歴史に関わる事象の意義や特色、相互の関連を多角的に考察し現代の課題の解決に向けて構想する力や、それらを効果的に表現する力を養う。	歴史に関わる諸事象からよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、日本や世界の歴史的文化を尊重する人間性を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1「歴史の扉」 【知識及び技能】 「旅」や「憲法制定」を題材に私たちの身近な生活が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「旅」や「憲法制定」を題材に近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、身近な生活が日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて歴史が叙述され、資料を批判的な目から見るよう主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・諸資料からみる今と昔の「旅」 ・「憲法制定」に関する歴史の特質及び資料 ・到着次第、一人1台端末を活用する	【知識・技能】 「旅」や「憲法制定」を題材に私たちの身近な生活が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 「旅」や「憲法制定」を題材に近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。	○	○	○	6
	単元2「近代化への問い」 【知識及び技能】 資料を活用して、交通、貿易、産業発達と人口増加、権利や義務、教育、産業革命と労働や家族のあり方の変化が近代化の重要な側面であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 交通の発達や貿易の拡大、教育の均質化が近代化に与えた影響や、産業と人口変化や人権思想の発展と近代化の関係性、産業革命と労働環境や家族関係の変化の理由について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、交通、貿易、産業発達と人口増加、権利や義務、教育、産業革命と労働や家族のあり方の変化が近代化の重要な側面であることを、見通しをもって主体的に追究する態度を養う。	・さまざまな課題について、個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 資料を活用して、交通、貿易、産業発達と人口増加、権利や義務、教育、産業革命と労働や家族のあり方の変化が近代化の重要な側面であることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 交通の発達や貿易の拡大、教育の均質化が近代化に与えた影響や、産業と人口変化や人権思想の発展と近代化の関係性、産業革命と労働環境や家族関係の変化の理由について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、交通、貿易、産業発達と人口増加、権利や義務、教育、産業革命と労働や家族のあり方の変化が近代化の重要な側面であることを、見通しをもって主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	単元3「近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立」 【知識及び技能】 大航海時代以降から19世紀末までのヨーロッパ及びアメリカの動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 特に産業革命の進展、ウィーン体制の成立と崩壊、アメリカ独立革命とフランス革命の関係性、ラテンアメリカ諸国の独立の様子について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、大航海時代以降から19世紀末までのヨーロッパ及びアメリカの動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。	・ヨーロッパ経済の動向と産業革命 ・アメリカ独立革命とフランス革命 ・19世紀のヨーロッパの動向 ・19世紀の南北アメリカ大陸の動向 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 大航海時代以降から19世紀末までのヨーロッパ及びアメリカの動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 特に産業革命の進展、アメリカ独立革命とフランス革命の関係性、ラテンアメリカ諸国の独立の様子について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、大航海時代以降から19世紀末までのヨーロッパ及びアメリカの動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

2 学 期	単元4「近代アジア世界の成立」 【知識及び技能】 16世紀から19世紀末までのアジア諸地域の大帝帝国や中国の動向と、ヨーロッパとの関係性について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、ヨーロッパの進出との関係性、イスラーム帝国の繁栄と衰退、インドおよび中国の台頭について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、16世紀から19世紀末までのアジア諸地域の大帝帝国や中国の動向と、ヨーロッパとの関係性について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。	・ヨーロッパ主権国家の成立とアジア進出 ・西アジアにおける大帝帝国の繁栄と衰退 ・南アジアおよび東南アジアの植民地化の影響 ・中華帝国の発展と日本との関係 ・さまざまな主題について、一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 16世紀から19世紀末までのアジア諸地域の大帝帝国や中国の動向と、ヨーロッパとの関係性について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、ヨーロッパの進出との関係性、イスラーム帝国の繁栄と衰退、インドおよび中国の台頭について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、16世紀から19世紀末までのアジア諸地域の大帝帝国や中国の動向と、ヨーロッパとの関係性について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	単元5「国民国家と明治維新」 【知識及び技能】 明治維新以降第一次世界大戦までの日本の近代化の動向と、おもにヨーロッパでの帝国主義の成立との関係性について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、自由民権運動と立憲体制、日本の産業革命と日清戦争との関係性、帝国主義と列強の展開について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、明治維新以降第一次世界大戦までの日本の近代化の動向と、おもにヨーロッパでの帝国主義の成立との関係性について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。	・ヨーロッパ主権国家の成立とアジア進出 ・西アジアにおける大帝帝国の繁栄と衰退 ・南アジアおよび東南アジアの植民地化の影響 ・中華帝国の発展と日本との関係 ・さまざまな主題について、一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 明治維新以降第一次世界大戦までの日本の近代化の動向と、おもにヨーロッパでの帝国主義の成立との関係性について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、自由民権運動と立憲体制、日本の産業革命と日清戦争との関係性、帝国主義と列強の展開について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、明治維新以降第一次世界大戦までの日本の近代化の動向と、おもにヨーロッパでの帝国主義の成立との関係性について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	単元6「近代化と現代的な諸課題」 【知識及び技能】 資料を活用し、自由と制限、開発と保全、対立と強調の観点から、現代的な諸課題に関わる近代化の特徴を理解し、戦争や交易、世界の工業生産、第一次世界大戦後の植民地問題や生活様式の変化、普通選挙や女性の参政権を求める動きが近代化の重要な側面であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 戦争や交易、世界の工業生産、第一次世界大戦後の植民地問題や生活様式の変化、普通選挙や女性の参政権を求める動きについて、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 近代化の進展について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・国際関係の緊密化と戦争・貿易が与えた影響 ・主にアメリカとソ連の工業生産の増加と世界経済への影響 ・第一次世界大戦後と第二次世界大戦後にそれぞれ目指された植民地独立の意義 ・19世紀後半から20世紀前半におこった大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 ・第一次世界大戦後の生活様式の変化とその影響 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 資料を活用し、自由と制限、開発と保全、対立と強調の観点から、現代的な諸課題に関わる近代化の特徴を理解し、戦争や交易、世界の工業生産、第一次世界大戦後の植民地問題や生活様式の変化、普通選挙や女性の参政権を求める動きが近代化の重要な側面であることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 戦争や交易、世界の工業生産、第一次世界大戦後の植民地問題や生活様式の変化、普通選挙や女性の参政権を求める動きについて、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化の進展について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
3 学 期	単元7「総力戦と社会運動」 【知識及び技能】 第一次世界大戦以降第二次世界大戦までの日本の世界の動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、第一次世界大戦の展開、ベルサイユ体制とワシントン体制の動向、世界経済の変容とナショナリズムについて、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、第一次世界大戦以降第二次世界大戦までの日本と世界の動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。	・第一次世界大戦の展開 ・ソビエト連邦の成立とアメリカの台頭 ・ベルサイユ体制とワシントン体制 ・世界経済の変容と日本 ・ナショナリズムと大衆の政治参加、大衆文化の発展 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 第一次世界大戦以降第二次世界大戦までの日本の世界の動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、第一次世界大戦の展開、ベルサイユ体制とワシントン体制の動向、世界経済の変容とナショナリズムについて、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、第一次世界大戦以降第二次世界大戦までの日本と世界の動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

単元8「経済危機と第二次世界大戦」 【知識及び技能】 世界恐慌以降冷戦のはじまりまでの国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、世界恐慌の時代、ファシズムと共産主義、日中戦争と第二次世界大戦の展開、国際連合の成立と冷戦のはじまり、日本の占領政策について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、世界恐慌以降冷戦のはじまりまでの国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。	・世界恐慌と国際的な影響 ・ファシズムの伸長と共産主義 ・日本の大陸政策と日中戦争 ・第二次世界大戦の展開 ・国際連合と国際経済体制 ・日本の占領政策と戦後改革 ・冷戦のはじまりと東アジア諸国の動向 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 世界恐慌以降冷戦のはじまりまでの国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、世界恐慌の時代、ファシズムと共産主義、日中戦争と第二次世界大戦の展開、国際連合の成立と冷戦のはじまり、日本の占領政策について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、世界恐慌以降冷戦のはじまりまでの国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
単元9「国際秩序の変化と現代的な諸課題」 【知識及び技能】 資料を活用し、対立と強調、統合と分化、平等と格差の観点から、現代的な諸課題に関わる大衆化の特徴を理解し、冷戦と国際関係、人と資本の国際的な移動、高度情報通信の発展、資源・エネルギー・環境・感染症、多様な人々の共存が国際秩序の変化や大衆化の重要な側面であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦と国際関係、人と資本の国際的な移動、高度情報通信の発展、資源・エネルギー・環境・感染症、多様な人々の共存について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際秩序の変化と大衆化の進展について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・冷戦の展開と国際関係の変容 ・人と資本の国際的な移動の動向と影響 ・高度情報通信の発展と政治・経済への影響 ・資源・エネルギー問題、地球環境問題、感染症対策などの歴史的展開 ・多様な人々の共存と平和構築への努力 ・自ら主題を設定し、個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 資料を活用し、対立と強調、統合と分化、平等と格差の観点から、現代的な諸課題に関わる大衆化の特徴を理解し、冷戦と国際関係、人と資本の国際的な移動、高度情報通信の発展、資源・エネルギー・環境・感染症、多様な人々の共存が国際秩序の変化や大衆化の重要な側面であることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦と国際関係、人と資本の国際的な移動、高度情報通信の発展、資源・エネルギー・環境・感染症、多様な人々の共存について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際秩序の変化と大衆化の進展について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
単元10「冷戦と世界経済」 【知識及び技能】 冷戦から石油危機までの国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、東西両陣営の動向、地域紛争と脱植民地化、軍拡競争と緊張緩和、地域連携の形成と展開、アジアの中の戦後日本について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、冷戦から石油危機までの国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。	・冷戦下の地域紛争の展開 ・東西両陣営の動向と脱植民地化 ・軍拡競争と緊張緩和 ・キューバ危機と核軍縮の進展 ・計画経済、石油危機と国際経済の変容 ・日本の高度経済成長とアジアとの関係 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 冷戦から石油危機までの国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、東西両陣営の動向、地域紛争と脱植民地化、軍拡競争と緊張緩和、地域連携の形成と展開、アジアの中の戦後日本について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、冷戦から石油危機までの国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
単元11「世界秩序の変容と日本」 【知識及び技能】 1980年代以降の国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、アジア諸地域の経済発展、情報技術革命とグローバリゼーション、冷戦の終結とソ連の崩壊、現代の東アジア、地域紛争と国際社会について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、冷戦から石油危機まで1980年代の国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。	・アジア諸地域の経済発展 ・グローバリゼーションの進展と国際政治・経済への影響 ・ソ連及び東欧諸国の変化と冷戦終結 ・ソ連の崩壊と新たな世界秩序 ・ヨーロッパなどの地域統合と拡大と変容 ・地域紛争とその解決への国際協力 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 1980年代以降の国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、アジア諸地域の経済発展、情報技術革命とグローバリゼーション、冷戦の終結とソ連の崩壊、現代の東アジア、地域紛争と国際社会について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、1980年代以降の国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
合計						105

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】社会的な見方・考え方を働かせる土台となる知識技能を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】 課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立って思考し、相手に伝わる表現力を身に着ける。

【学びに向かう力、人間性等】グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に着ける

科目 選択世界史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1「諸地域世界の歴史的特性の形成 諸地域の歴史的特質への問い」 【知識及び技能】 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けること 【思考力、判断力、表現力等】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現すること 【学びに向かう力、人間性等】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。	・諸地域の歴史的特性への問い ・農耕と牧畜のはじまり ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。 【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追有しようとしている。	○	○	○	2
	単元2「諸地域世界の歴史的特性の形成 古代文明の歴史的特質」 【知識及び技能】 オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解すること 【思考力、判断力、表現力等】 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。 定期考查	・オリエント文明 ・インダス文明 ・中国文明 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。 【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追有しようとしている。	○	○	○	9
				○	○		1

単元3「諸地域の歴史的特質 秦・漢と遊牧国家，唐と近隣諸国」 【知識及び技能】 秦・漢と遊牧国家，唐と近隣諸国の動向などを基に，東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，唐の統治体制と社会や文化の特色，唐と近隣諸国との関係，遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し，表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の歴史的特性に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，自然環境と生活や文化との関連性，農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し，表現すること。	・春秋、戦国時代の変動 ・中国古代帝国と東アジア ・中央ユーラシア国家形成 ・胡漢融合帝国の誕生 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。 【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追有しようとしている。	○	○	○	12
			○	○		1
単元4「諸地域の歴史的特質 仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家」 【知識及び技能】 仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家などを基に，南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色，東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し，表現すること 【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の歴史的特性の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，自然環境と生活や文化との関連性，農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し，歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。	・インド古代文化の形成 ・古代の東南アジアと海のシルクロード ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。 【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追有しようとしている。	○	○	○	9

2 学 期	単元5「諸地域の歴史的特質 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象」 【知識及び技能】 西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解すること 【思考力、判断力、表現力等】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現すること 【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の歴史的特性の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、定期考査	・オリエントの統一 ・ギリシア文明 ・ヘレニズム時代 ・ローマ帝国 ・西アジアの国々と諸宗教 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。 【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追有しようとしている。	○	○	○	11
				○	○		1
	単元6「諸地域の交流・再編 海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がり」 【知識及び技能】 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開、宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸地域へのイスラームの拡大の要因、ヨーロッパの社会や文化の特色、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現すること 【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の交流・再編の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、定期考査	・ビザンツ帝国とギリシア正教圏 ・ラテン＝カトリック圏の形成と展開 ・イスラーム圏の成立 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。 【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追有しようとしている。	○	○	○	11
				○	○		1

3 学 期	単元7「諸地域の交流・再編 諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出」 【知識及び技能】 アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解すること 【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の交流・再編の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、歴史的経緯と意義を主体的に追究する	・イスラーム圏の多様化と展開 ・ラテン＝カトリック圏の拡大 ・ラテン＝カトリック圏の同様と秩序の変容 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。 【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追有しようとしている。	○	○	○	13
				○	○		1
							合計
							72

年間授業計画

成瀬 高等学校 令和6年度（第2学年用）教科 地理歴史 科目 選択日本史

教科： 地理歴史 科 目： 選択日本史 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年

使用教科書：（ 詳説日本史探究（山川出版社） ）

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】地域的特色と日本及び世界の歴史について理解するとともに、調査や諸資料からまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し多角的に考察し効果的に説明したり議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】課題を主体的に解決しようとする態度を養い、我が国への愛情、他国文化の尊重に対する自覚を深める。

科目 選択日本史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事情に関して地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意義などを多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象についてより良い社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国及び他国やその文化を尊重する自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 日本文化のあけぼの 【知識及び技能】原始の日本列島の歴史的環境・文化の形成、特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】原始社会の特色を諸資料を活用しながら考察する 【学びに向かう力、人間性等】原始社会の特色を諸資料を活用し理解しようとしている。	・指導事項 原始・古代の日本と東アジア・日本列島の歴史的環境 ・教材 教科書・副教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】原始時代の日本列島の基本的事項を理解している。 【思考・判断・表現】学習内容を基に原始の日本列島について多面的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習したことを基に、原始の日本列島について課題を設け探究できる。	○	○	○	5
	B 単元 古墳とヤマト政権 【知識及び技能】東アジアとの関係や小国の形成過程や古墳の特色、飛鳥時代について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】学習したことを基に、古墳、飛鳥時代の社会変化について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】古墳、飛鳥文化（仏教）の特色を理解しようとしている。	・指導事項 国家の形成と古墳文化、推古朝・厩戸王・蘇我馬子の政権運営と飛鳥文化と東アジアとの関係に着目して考察する。 ・教材 教科書・副教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】古墳時代、飛鳥時代の基本的事項を理解する。 【思考・判断・表現】学習内容を基に古墳・飛鳥時代について多面的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習したことを基に、古墳・飛鳥時代について課題を設け探究できる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	C 単元 律令国家の形成 【知識及び技能】中国王朝（隋・唐）の影響を文化、政治、社会動向など多角的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】学習したことを基に、律令国家の成立や特色などを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】奈良時代の内外の政治動向に着目して特色を理解しようとしている。	・指導事項 中国王朝（隋・唐）と日本の関係と政治などへの影響に着目し、東アジア情勢をふまえつつ、律令体制の成立や仏教文化の理解を深める。 ・教材 教科書・副教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】律令国家の形成と影響について基本的事項を理解する。 【思考・判断・表現】学習したことを基に律令国家の形成や特色について多面的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習したことを基に、律令国家の形成や特色について課題を設け探究できる。	○	○	○	6
	D 単元 貴族政治の展開 【知識及び技能】律令体制の変容から摂関政治の過程について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】公領支配の変質・荘園の拡大の経緯を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】摂関政治の特色や地方の豪族や武力勢力の動向が政治・社会に与えた影響を理解しようとしている。	・指導事項 律令体制の変容かた摂関政治を諸資料を活用して考察する。また、地方の諸勢力の成長、地方の状況、荘園の発達過程を理解する。 ・教材 教科書・副教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】摂関政治の形成過程やその特色など基本的事項を理解する。 【思考・判断・表現】学習したことを基に摂関時代の特色について多面的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習したことを基に、摂関時代の特色について課題を設け探究できる。	○	○	○	6
2 学 期	定期考査			○	○	○	1
	E 単元 院政と武士の躍進 【知識及び技能】古代から中世の国家・社会の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】平氏政権の台頭とその背景など諸資料から様々な情報を読み取り理解する。 【学びに向かう力、人間性等】中世社会の特色について多面的に考察することを通じて時代を通観する問いを表現し追究しようとしている。	・指導事項 院政期の政治・経済・社会・文化の考察 政治動向、国際関係などをふまえ、平氏政権の特性を考察する。 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】貴族政治や土地制度の変容・平氏政権の特色について基本的事項を理解する。 【思考・判断・表現力】学習したことを基に古代から中世の時代の変化について多面的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習したことを基に中世社会の特色について課題を設け探究できる。				12
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	F 単元 武家政権の成立 【知識及び技能】鎌倉幕府の成立過程、公武二元的支配構造、封建制度の成立等を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】公武が土地支配に及ぼした影響を考察し根拠を明確にして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追求しようとしている。	・指導事項 鎌倉幕府の成立、武士の社会について、土地に対する支配権（地頭）掌握の過程や鎌倉文化、仏教等成立過程などを理解する。 ・教材 教科書・副教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】武家政権の成立過程・政権の特色・展開の基本的事項を理解する。 【思考・判断・表現】学習したことを基に武家政権の特色について多面的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習したことを基に、武家政権の特色について課題を設け探究できる。				12
	定期考査			○	○	○	1
	G 単元 武家社会の成長 【知識及び技能】鎌倉幕府滅亡への過程や南北朝、室町政権への推移と武家、守護の勢力拡大、日明貿易の展開琉球王国、蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流と中世日本の影響について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】中世社会を多面的多角的に考察し理解する。 【学びに向かう力、人間性等】中世社会の諸課題を主体的に追及する。	・指導事項 鎌倉滅亡過程、南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ・守護大名から戦国大名の登場の時代的背景を考察する。 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】鎌倉幕府の滅亡過程、南北朝の室町の特色や展開について基本的事項を理解する、 【思考・判断・表現】学習したことをもとに鎌倉後半、南北朝や室町時代の特色や展開について多面的に表現することができる、 【主体的に学習に取り組む態度】学習したことを基に鎌倉末期か、南北朝や室町時代の特色について課題を設け探究できる。				18
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（ 組： 豊田 ）

使用教科書：（ 公共（実教704） ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】進路実現に向けての基礎的・基本的知識の定着させ、探究学習のためICT等を用いる技能を習得させる。

【思考力、判断力、表現力等】社会的な課題を追究・解決する思考・判断の力と、それを的確に表現する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】広い視野に立ちグローバル化する国際社会において主体的に生きる人間性を身に付けさせる。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解させ、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めさせる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元1「公共の扉」 【知識及び技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることにより、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付けられるような態度を養う。	・原典資料「第二の誕生」から、第二の誕生がどのような状態であるかについて理解する。 ・社会参加と自己形成の関連について、資料等を活用して多面的に考察し、適切に表現する。 ・「一人1台端末」を活用し、主体的に思考・表現する。	【知識・技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることにより、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に対する自覚を深めようとしている。	○	○	○	4
単元2「人間としてよく生きる」 【知識及び技能】 ・先哲の思想から、個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・倫理的価値の判断において、先哲の思想を活用し、自らも他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であることを、伝統や文化、先哲の思想に触れることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるような態度を養う。	・個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、公正などの義務を重視する考え方などについて、先哲の思想を踏まえて理解する。 ・思考実験等に関するグループワークや「一人1台端末」を活用し、主体的および対話的に学習を進める。 ・社会のなかで生きるにあたって、各宗教の教えから何を学べるかについて、多面的に考察し、適切に表現する。 ・よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深める。	【知識・技能】 ・先哲の思想から、個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・倫理的価値の判断において、先哲の思想を活用し、自らも他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であることを、伝統や文化、先哲の思想に触れることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することを主体的に追究しようとしている。	○	○	○	5

1 学 期	単元3「社会とは何か」 【知識及び技能】 ・人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理についての理解を踏まえ、社会のあるべき姿を構想し、多面的・多角的に考察し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて主体的に表現、判断する態度を養う。	・人間の尊厳や平等について、その背景にある生命尊重と非暴力の思想や、個人の尊重の考え方を理解する。 ・差別を是正するための取り組みとして、男女共同参画の実現のために行われている内容を理解する。 ・特に地球環境問題など、将来世代の利益を考慮した公正な意思決定について、思考実験などを活用して協働的に考察・構想し、適切に表現する。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重といった公共的な空間における基本的な原理について、「一人1台端末」を活用して主体的に理解を深める。	【知識・技能】 ・人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理についての理解を踏まえ、社会のあるべき姿を構想し、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて主体的に追究しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	単元4「民主国家における基本原理」 【知識及び技能】 ・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保をともに進めることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて主体的に追究する態度を養う。	・政治と国家が何であるか、また民主政治の歴史的な発展と社会契約説の考え方について理解する。 ・議会制民主主義と多数決原理、民主政治の課題についての理解を踏まえ、多数決の長所と短所を主体的・対話的に考察し、適切に表現する。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して、民主主義といった公共的な空間における基本的な原理について、「一人1台端末」を活用して探究学習を深める。	【知識・技能】 ・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保をともに進めることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
	単元5「日本国憲法の基本的性格」 【知識及び技能】 ・法や規範の意義及び役割など、憲法の下での適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整することで権利や自由が保障されていくことについて理解させる。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自ら具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実をもとに協働して考察・構想し、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・明治憲法下の政治機構と日本国憲法下の政治機構の相違点を理解する。 ・日本国憲法で保障される基本的人権に関する現実社会の課題について理解する。 ・立憲主義について、「一人1台端末」を活用して多面的に考察し、適切に表現する。 ・新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解するとともに、人権侵害の課題や人権の国際化の動きについて考察し表現する。 ・法の意義と役割、および我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して解決策を構想する。	【知識・技能】 ・法や規範の意義及び役割など、憲法の下での適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整することで権利や自由が保障されていくことについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自ら具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実をもとに協働して考察・構想し、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

2 学 期	単元6「日本の政治機構と政治参加」 【知識及び技能】 ・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、個人や社会の紛争を調停、解決することなどにより社会の秩序が形成、維持されることについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題についての理解をもとに、よりよい社会の形成について考察・構想し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、論拠をもって表現しようとする態度を養う。	・国会の役割や権限、議院内閣制のしくみや内閣の権限、官主導社会の特徴と課題について理解する。 ・司法権の独立や裁判のしくみ、各裁判所の役割について理解する。 ・地方自治の政治・経済的な課題や都市と地方の格差の課題、それらへの対策として行われた改革について理解する。 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題に対して、思考実験等や「一人1台端末」を活用して主体的・対話的に追究し、表現する。	【知識・技能】 ・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、個人や社会の紛争を調停、解決することなどにより社会の秩序が形成、維持されることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題についての理解をもとに、よりよい社会の形成について考察・構想し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、論拠をもって表現しようとしている。	○	○	○	7
	単元7「現代の経済社会」 【知識及び技能】 ・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などについて理解させる。 ・市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現代的な動きについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることや、市場経済の機能や政府の役割について、思考・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体的な主題を設定し、現代の経済社会の特徴を踏まえてその主題の解決に向けて事実をもとに主体的かつ協働して考察・構想させる。	・資本主義経済の成立と経済社会の展開について理解する。 ・現代経済において株式会社形態が多いことの理由や、企業の社会的責任（CSR）が求められていることについて考察している。 ・現代の経済社会における企業経営や株主と利害関係者の利益について理解する。 ・金融の仕組みと金融機関の役割、通貨価値の安定や景気安定のための金融政策や金融の自由化などの動きについて理解する。 ・市場経済における政府の役割と租税を中心とした公的負担の意義と必要性について、「一人1台端末」を活用して主体的に考察し、経済活動と個人の尊重とともに成り立たせることを中心に表現する。	【知識・技能】 ・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などについて理解している。 ・市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現代的な動きについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることや、市場経済の機能や政府の役割について、思考・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な主題を設定し、現代の経済社会の特徴を踏まえてその主題の解決に向けて事実をもとに主体的かつ協働して考察・構想しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元8「経済活動のあり方と国民福祉」 【知識及び技能】 ・多様な契約及び消費者の権利と責任、社会保障の充実・安定化などについて理解させる。 ・国民福祉の向上に関する政府の役割について理解させる。 ・消費者の権利や社会保障に関する諸資料を効果的に収集しまとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済社会のあり方についての具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて考察・構想し、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通してより活発な経済活動と経済社会の安定化が実現することについて、主体的に追究しようとする態度を養う。	・労働基本権と労働三法の内容や、日本的雇用形態の特徴を理解する。 ・日本の社会保障制度を諸外国との比較において理解し、少子高齢化の進行と社会保障が直面している課題を理解する。 ・2000年代以降、景気が拡大しても経済成長率が伸び悩んでいる理由について、多面的・多角的に考察する。 ・産業別の将来的な課題について情報を読み取り、それをもとに主体的に考察する。 ・消費社会の現代的な課題について問いを見出し、消費者主権や消費者の権利の観点などから「一人1台端末」を活用して協働的に考察・構想し、その内容を表現する。	【知識・技能】 ・多様な契約及び消費者の権利と責任、社会保障の充実・安定化などについて理解している。 ・国民福祉の向上に関する政府の役割について理解しようとしている。 ・消費者の権利や社会保障に関する諸資料を効果的に収集しまとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・経済社会のあり方についての具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて考察・構想し、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通してより活発な経済活動と経済社会の安定化が実現することについて、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	8
	単元9「国際政治の動向と課題」 【知識及び技能】 ・国際貢献を含む国際社会における我が国の役割に関わる事柄について理解させる。 ・主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主に冷戦の展開と冷戦後の日本と世界について、具体的な主題を設定し、考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国家主権、領域、安全保障と防衛といった現実社会の課題について、主体的に追究し解決しようとする態度を養う。	・主権国家と国際社会の成り立ち、国際政治や国際法について理解する。 ・国際連合の機構とその課題、国際紛争の構造的課題について理解する。 ・国際紛争に伴う難民や国内避難民について、「一人1台端末」を活用して協働的に考察・構想し、その内容を表現する。	【知識・技能】 ・国際貢献を含む国際社会における我が国の役割に関わる事柄について理解しようとしている。 ・主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割について理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・主に冷戦の展開と冷戦後の日本と世界について、具体的な主題を設定し、考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国家主権、領域、安全保障と防衛といった現実社会の課題について、主体的に追究し解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

3 学 期	単元 1 0 「国際経済の動向と課題」 【知識及び技能】 ・経済のグローバル化と世界各地における経済的相互関係の深まりについて理解させる。 ・国際社会における貧困や格差の問題といった課題について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済活動が世界的な規模で自由に行われていることが引き起こす課題について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各国が経済的により緊密に結び付いていることを踏まえて、国際経済の課題を具体的に設定し、それらについて主体的に追究する態度を養う。	・自由貿易のメリットを、比較生産費説をもとに理解するとともに、国際収支表の内容と日本の貿易・投資の特徴と変化について理解する。 ・円高や円安が日本経済に与える影響について、輸入業者や輸出業者の具体的な取引をもとに理解する。 ・IMF・GATT体制の理解を踏まえて、公正な国際貿易体制について、「一人1台端末」を活用して協働的に考察し、その内容を表現する。 ・金融のグローバル化による資本の国際取引の活発化と国際金融の不安定性について、具体的な主題を設定し、対話的にその対応策を考察・構想する。	【知識・技能】 ・経済のグローバル化と世界各地における経済的相互関係の深まりについて理解している。 ・国際社会における貧困や格差の問題といった課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・経済活動が世界的な規模で自由に行われていることが引き起こす課題について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各国が経済的により緊密に結び付いていることを踏まえて、国際経済の課題を具体的に設定し、それらについて主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7
	単元 1 1 「世界秩序の変容と日本」 【知識及び技能】 ・地域社会市民として、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成について理解させる。 ・ともに生きる社会を築くという観点から問いや課題を設定し、その課題の解決に向けて論拠をもとに自分の考えを説明、論述させる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、これまでの学習のまとめとなる公共的な空間における基本的原理について、総合的に判断・構想し、その内容を表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個人を起点として、自立、協働の観点から、多様性を尊重し、合意形成や社会参画を視野に入れながら探究する態度を養う。	・個人およびグループで「一人1台端末」を活用し、それぞれが選択した現実社会の諸課題について、必要な知識や理解を習得する。 ・それぞれが選択した現実社会の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 ・よりよい社会の実現を視野に、それぞれが選択した現実社会の諸課題に関する多面的・多角的な考察や深い理解を通して、主体的・対話的に探究学習を深め、最適解を求める。	【知識・技能】 ・地域社会市民として、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成について理解している。 ・ともに生きる社会を築くという観点から問いや課題を設定し、その課題の解決に向けて論拠をもとに自分の考えを説明、論述させる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、これまでの学習のまとめとなる公共的な空間における基本的原理について、総合的に判断・構想し、その内容を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・個人を起点として、自立、協働の観点から、多様性を尊重し、合意形成や社会参画を視野に入れながら探究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1 合計 70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理・歴史 科目 地理探究

教 科： 地理・歴史 科 目： 地理探究 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

使用教科書：（ 高等学校 新詳地理探究（帝国702） ）

教科 地理・歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】進路実現に向けての基礎的・基本的知識の定着させ、GIS等を用いる技能を習得させる。

【思考力、判断力、表現力等】社会的な課題を追及・解決する思考・判断の力と、それを的確に表現する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】広い視野に立ちグローバル化する国際社会において主体的に生きる人間性を身に付けさせる。

科目 地理探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする	地理に関わる事象の意義や特色、相互の関連を多角的に考察し課題の解決に向けて構想する力や、それらを効果的に表現する力を養う。	地理に関わる諸事象からよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、世界の多様な文化を尊重する人間性を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1「自然環境」 【知識及び技能】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとするこ	・地形 ・気候 ・日本の自然環境 ・環境問題	【知識・技能】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境について、よりよい社会の実現を視野に世界でみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	単元2「資源と産業」 【知識及び技能】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする	・農林水産業 ・食糧問題 ・エネルギー・鉱産資源 ・資源・エネルギー問題 ・第3次産業	【知識及び技能】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	5
	単元3「交通・通信と観光、貿易」 【知識及び技能】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとするこ 定期考査	・交通・通信 ・観光 ・貿易	【知識及び技能】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	15
				○	○		1

2 学 期	単元4「生活文化、民族・宗教」 【知識及び技能】 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	・衣食住 ・民族・宗教・宗教問題 ・国境問題	【知識及び技能】 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	13
	単元5「さまざまな地域課題についての探究学習」 【知識及び技能】 さまざまな国や地域における地理的課題について理解し、持続可能な社会の実現を目指した課題解決について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな国や地域における地理的課題について持続可能な社会づくりに着目して自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな国や地域における地理的課題について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・生徒が自ら主体的に設定した主題 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 さまざまな国や地域における地理的課題について理解し、持続可能な社会の実現を目指した課題解決について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな国や地域における地理的課題について持続可能な社会づくりに着目して自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな国や地域における地理的課題について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元6「自然環境と防災」 【知識及び技能】 日本や世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、備えや対応の重要性などについて理解し、ハザードマップなどを活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異などに着目して主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・日本や世界の自然環境 ・地震・津波・火山と防災 ・気象災害と防災 ・さまざまな地図を活用した備え ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 日本や世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、備えや対応の重要性などについて理解し、ハザードマップなどを活用する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異などに着目して主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10
	単元7「生活圏の調査と地域の展望」 【知識及び技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について、地域の成り立ちや変容に着目して主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・生活圏の調査の技法とまとめ方 ・生活圏の課題及びその解決 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める	【知識・技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について、地域の成り立ちや変容に着目して主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
				○	○		1
							合計
							68

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

単位数： 4 単位

使用教科書：（ 世界史探究(実教出版) ）

教科 地理歴史

の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】高等学校卒業者にふさわしい世界史の基本的な教養を身につける
- 【思考力、判断力、表現力等】現代社会の様々な事象を歴史的背景に基づいて理解する
- 【学びに向かう力、人間性等】歴史を学ぶことで事故を向上させる態度を養う

科目 世界史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、さまざまな資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	世界の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、それぞれの文明圏の伝統や文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	世界の歴史の展開に関わる諸事象について、複雑化する新たな国際関係を視野に置いて。課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される国際感覚の自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元「世界史学習の基礎と先史時代」 【知識及び技能】 ・人類の誕生と、文字記録のない先史時代について考古資料に基づいて代の転換を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人類の作り出した石器の出現や農耕の開始による人間社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 先史時代の考古資料に着目して、先史時代の特色について多面的・多角的に考察し人類と文明と意義を主体的に追究する態度を養う。	・人類の進化 ・文明の始まり	・定期考査と問題演習の成果	○	○	○	10
	B 単元「オリエント古代」 【知識及び技能】 ・世界最古の文明とされる、メソポタミアやエジプト、地中海東岸のフェニキア人、アラム人、ヘブライ人、アッシリアとアケメネス朝ペルシャによるオリエント統一の歴史的展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・メソポタミアでは都市国家同士が慢性的戦争状態にあった原因は何か？メソポタミアに多くの民族が侵入してきたのはなぜか？エジプトでは相対的に平和が続いたのはなぜか？アッシリアのオリエント統一は短く、明け面ネス町の統一が永続したのはなぜか？といったといったことを考察すえう。 【学びに向かう力、人間性等】 遠い地域の古い文明について、その特色と現代との同意と共通性について多面的・多角的に考察し主	・メソポタミア文明 ・エジプト文明 ・地中海東岸の諸民族 ・オリエントの統一		○	○	○	11
	c 単元「古典古代」 【知識及び技能】 古代ギリシャと古代ローマの歴史的展開を代の転換を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古代におギリシャ、ローマで奴隷制が発達したのはなぜか？ギリシャのポリスと同じ都市国家から出発したローが、地中海世界を党委統一したのはなぜかせる。 【学びに向かう力、人間性等】 現在のヨーロッパに大きな影響を与えた、文明のの特色と現代との相違と共通性について多面的・多角的に考察し主体的に追究する態度を養う。	・エーゲ文明 ・ポリスの成立 ・スパルタとアテネ ・ペルシア戦争 ・ペっぱねそす戦争 ・都市国家ローマ ・ローマの共和制 ・ローマ帝国	定期考査と問題演習の成果	○	○	○	11

2 学 期	D 単元「古典インド」 【知識及び技能】 ・インダス文明からアーリア人の侵入、仏教の成立とその伝搬サンスクリット語によるインドの古典文明の成立の展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・インダス文明の滅亡の原因は何か？インドの歴史資料はインド人以外のものが多い8のはなぜか？といった問題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現在のヨーロッパに大きな影響を与えた、文明のの特色と現代との相違と共通性について多面的・多角的に考察し主体的に追究する態度を養う。	・インダス文明 ・アーリア人の侵入 ・仏教の成立 ・マウルヤ朝とアショカ王 ・クシャナ朝とカニシカ王 ・グプタ朝とインド古典文化	定期考査と問題演習の成果	○	○	○	10
	E 単元「黄河文明と中国古典文明」 【知識及び技能】 黄河文明から商、周、春秋戦国、秦、漢、魏晉南北朝、隋、唐までの歴史的展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・春秋戦国時代に諸子百家といわれるさまざまな思想が生まれたのはなぜか？、秦による中国統一は現代の中国にどのような影響を与えているかか？といった問題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現在の日本にも様々な影響を与えている漢字などのや中国文化を身近な視点から考察し主体的に追究する態度を養う。	・：黄河文明 ・商と周 ・春秋戦国事態と諸子百家 ・秦による中国統一 ・全巻と後漢 ・魏晉南北朝と遊牧民の侵入 ・隋と煬帝 ・唐と西域	定期考査と問題演習の成果	○	○	○	11
	F 単元「唐末五代」 【知識及び技能】 ・唐末五代十国 から宋代までの歴史的展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・唐までの貴族の荘園を中心とした自給自足的な経済から、商品経済に転換したのはなぜか？といった問題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中学校で学んできた日宋貿易などの日本とのかかわりからの視点から考察し主体的に追究する態度を養う。	・唐の滅亡とウイグル ・五代十国の分裂 ・趙匡胤と宋 ・中央集権的政治、軍事態勢 ・商品経済の発達 ・宋代の文化	定期考査と問題演習の成果	○	○	○	10
3 学 期	F 単元「遊牧国家とイスラム」 【知識及び技能】 ・宋代に遊牧民が建国した遼や西夏、金、元からイスラム世界までの歴史的展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・遊牧民と中国に關係が、唐代以前と大きく違っているのはなぜか？といった問題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・モンゴルの日本侵入などの日本とのかかわりからの視点から考察し主体的に追究する態度を養う。	・遊牧民の社会構造 ・匈奴t露冒頓单于 ・柔然と突厥 ・契丹と遼、タングートと西夏 ・モンゴル帝国とチンギス・ハン ・イスラム教の成立とムハンマド ・イスラム帝国の成立と分裂 ・イスラム教の拡大	定期考査と問題演習の成果	○	○	○	3
	F 単元「中世ヨーロッパ」 【知識及び技能】 ・西ローマ帝国の滅亡からゲルマン人の侵入、封建制の成立と解体までの歴史的展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・カトリック教会が大きな権威を持っていたのはなぜか？などの問題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中世世界が現在のヨーロッパの基本的な部分を構築しているとの視点から考察し主体的に追究する態度を養う。	・西ローマ帝国の滅亡 ・ゲルマン人の侵入 ・フランク王国とカールの戴冠 ・ノルマン人の侵入と封建制 ・ローマカトリック教会 ・十字軍と商業、都市 ・封建制の解体と教皇権の衰退 ・百年戦争イングランドとフランス	定期考査と問題演習の成果	○	○	○	2 合計 68

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

単位数： 2 単位

使用教科書： （ 世界史探究（実教出版） ）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】社会的な見方・考え方を働かせる土台となる知識技能を身に着ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 課題を追究したり解決したりする活動を通して、 広い視野に立って思考し、相手に伝わる表現力を身に着ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に着ける。

科目 世界史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
共通テストで出題されるレベルの基礎知識を身に着け、歴史的な原典や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	歴史に関わる事象の意義や特色、相互に関連する事象を多角的に考察し、現代の課題を歴史的思考をもって理解し、解決に向けて判断表現する力を養う。	社会形成における歴史的背景という視点をもって、よりよい社会の実現を目標として現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、日本や世界の歴史的文化を尊重する人間性を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 1 第一次世界大戦の背景と第一次世界大戦 【知識及び技能】 資料を活用して、指導項目に関する事項を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目に関する事項について、その関連性や意義について考察し、共通点や相違点について思考し、現代との関連性について理解する。また、その内容を的確に判断し、表現して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、指導項目に関する事項を、他の歴史事象や現代社会との因果関係と関連付けて疑問をもち、主体的に追究する態度を養う。	・ヨーロッパの帝国主義 ・アメリカの帝国主義 ・西アジアの改革運動 ・アフリカの分割と抵抗 ・インドの植民地化と民族運動 ・東南アジアの植民地化と民族運動 ・東アジアの国際関係 ・第一次世界大戦	【知識・技能】 問われている基礎知識について、理解しその歴史的意義について解答することができている。 【思考・判断・表現】 問われている歴史的事象について、歴史的意義について思考して、因果関係を判断し、的確な言語表現により相手に伝えることができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史事象を学ぶうえで、疑問をもって学習にあたり、探究的思考でとらえる姿勢を持ち続けることができています。	○	○	○	6
	単元 2 戦間期と第二次世界大戦 【知識及び技能】 資料を活用して、指導項目に関する事項を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目に関する事項について、その関連性や意義について考察し、共通点や相違点について思考し、現代との関連性について理解する。また、その内容を的確に判断し、表現して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、指導項目に関する事項を、他の歴史事象や現代社会との因果関係と関連付けて疑問をもち、主体的に追究する態度を養う。	・ヴェルサイユ体制と国際協調 ・アジアのナショナリズムの台頭 ・世界恐慌とファシズム ・満州事変と日中戦争 ・第二次世界大戦	【知識・技能】 問われている基礎知識について、理解しその歴史的意義について解答することができている。 【思考・判断・表現】 問われている歴史的事象について、歴史的意義について思考して、因果関係を判断し、的確な言語表現により相手に伝えることができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史事象を学ぶうえで、疑問をもって学習にあたり、探究的思考でとらえる姿勢を持ち続けることができています。	○	○	○	7
	中間考査			○	○		1
	単元 3 第二次世界大戦後と冷戦期 【知識及び技能】 資料を活用して、指導項目に関する事項を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目に関する事項について、その関連性や意義について考察し、共通点や相違点について思考し、現代との関連性について理解する。また、その内容を的確に判断し、表現して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、指導項目に関する事項を、他の歴史事象や現代社会との因果関係と関連付けて疑問をもち、主体的に追究する態度を養う。	・戦後の変革と冷戦のはじまり ・冷戦下の安全保障体制 ・脱植民地化と非同盟	【知識・技能】 問われている基礎知識について、理解しその歴史的意義について解答することができている。 【思考・判断・表現】 問われている歴史的事象について、歴史的意義について思考して、因果関係を判断し、的確な言語表現により相手に伝えることができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史事象を学ぶうえで、疑問をもって学習にあたり、探究的思考でとらえる姿勢を持ち続けることができています。	○	○	○	7

2 学 期	単元 4 冷戦期の終わりと現代社会 【知識及び技能】 資料を活用して、指導項目に関する事項を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目に関する事項について、その関連性や意義について考察し、共通点や相違点について思考し、現代との関連性について理解する。また、その内容を的確に判断し、表現して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、指導項目に関する事項を、他の歴史事象や現代社会との因果関係と関連付けて疑問をもち、主体的に追究する態度を養う	・冷戦終結と現代社会 ・冷戦と経済統合 ・産業構造と社会の変化 ・グローバル化と新自由主義の時代	【知識・技能】 問われている基礎知識について、理解しその歴史的意義について解答することができる。 【思考・判断・表現】 問われている歴史的事象について、歴史的意義について思考して、因果関係を判断し、的確な言語表現により相手に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史事象を学ぶうえで、疑問をもって学習にあたり、探究的思考でとらえる姿勢を持ち続けることができる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	単元 5 緒地域世界の形成と関係性 【知識及び技能】 資料を活用して、指導項目に関する事項を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目に関する事項について、その関連性や意義について考察し、共通点や相違点について思考し、現代との関連性について理解する。また、その内容を的確に判断し、表現して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、指導項目に関する事項を、他の歴史事象や現代社会との因果関係と関連付けて疑問をもち、主体的に追究する態度を養う	・古代文明の特色 ・東アジアと中央ユーラシアの関連性 ・南アジアと東南アジアの関連性 ・東アジアと地中海世界の関連性 ・西アジアと地中海周辺の変動とヨーロッパ形成	【知識・技能】 問われている基礎知識について、理解しその歴史的意義について解答することができる。 【思考・判断・表現】 問われている歴史的事象について、歴史的意義について思考して、因果関係を判断し、的確な言語表現により相手に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史事象を学ぶうえで、疑問をもって学習にあたり、探究的思考でとらえる姿勢を持ち続けることができる。	○	○	○	8
	単元 6 世界の一体化 【知識及び技能】 資料を活用して、指導項目に関する事項を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目に関する事項について、その関連性や意義について考察し、共通点や相違点について思考し、現代との関連性について理解する。また、その内容を的確に判断し、表現して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、指導項目に関する事項を、他の歴史事象や現代社会との因果関係と関連付けて疑問をもち、主体的に追究する態度を養う	・イスラーム圏の拡大とヨーロッパ社会の変容 ・中央ユーラシアと諸地域の交流・再編 ・大交易時代 ・アジア諸地域の帝国 ・近世ヨーロッパの形成と展開 ・産業革命と大西洋革命	【知識・技能】 問われている基礎知識について、理解しその歴史的意義について解答することができる。 【思考・判断・表現】 問われている歴史的事象について、歴史的意義について思考して、因果関係を判断し、的確な言語表現により相手に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史事象を学ぶうえで、疑問をもって学習にあたり、探究的思考でとらえる姿勢を持ち続けることができる。	○	○	○	8
	中間考査			○	○		1
	単元 7 テーマによる世界史のとらえ方 【知識及び技能】 資料を活用して、指導項目に関する事項を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目に関する事項について、その関連性や意義について考察し、共通点や相違点について思考し、現代との関連性について理解する。また、その内容を的確に判断し、表現して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、指導項目に関する事項を、他の歴史事象や現代社会との因果関係と関連付けて疑問をもち、主体的に追究する態度を養う	・土地制度と税制 ・世界宗教と歴史の因果関係 ・中央集権と地方分権 ・地理的要因と世界史 ・経済的要因と世界史 ・法制度の変遷	【知識・技能】 問われている基礎知識について、理解しその歴史的意義について解答することができる。 【思考・判断・表現】 問われている歴史的事象について、歴史的意義について思考して、因果関係を判断し、的確な言語表現により相手に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史事象を学ぶうえで、疑問をもって学習にあたり、探究的思考でとらえる姿勢を持ち続けることができる。	○	○	○	7
	期末考査			○	○		1

3 学 期	単元 8 総合問題 【知識及び技能】 資料を活用して、指導項目に関する事項を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目に関する事項について、その関連性や意義について考察し、共通点や相違点について思考し、現代との関連性について理解する。また、その内容を的確に判断し、表現して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、指導項目に関する事項を、他の歴史事象や現代社会との因果関係と関連付けて疑問をもち、主体的に追究する態度を養う	・共通テストレベルを基準とした総合的な資料の読み取り演習	【知識・技能】 問われている基礎知識について、理解しその歴史的意義について解答することができる。 【思考・判断・表現】 問われている歴史的事象について、歴史的意義について思考して、因果関係を判断し、的確な言語表現により相手に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史事象を学ぶうえで、疑問をもって学習にあたり、探究的思考でとらえる姿勢を持ち続けることができる。	○	○	○	4
							合計 58

年間授業計画

成瀬高等学校

令和 6 年度

(第 3 学年用)

教科 地理歴史

科目 日本史探究

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

単位数：4 単位

使用教科書：（ 詳説日本史探究 （山川出版社） ）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 地域的特色と日本及び世界の歴史について理解するとともに、調査や諸資料からまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し多角的に考察し効果的に説明したり議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に解決しようとする態度を養い、我が国への愛情、他国文化の尊重に対する自覚を深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事情に関して地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意義などを多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象についてより良い社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国及び他国やその文化を尊重する自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・旧石器文化から農耕の発展、ヤマト政権の成立、古墳文化の特徴律令国家の仕組みや、律令制が日本の歴史に与えた影響について多面的・多角的に考察する。	・文化の始まりと農耕社会の成立 ・古墳文化の展開・飛鳥の朝廷 ・律令国家への道	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・考古学上の見地、史資料を考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	10
	・律令国家の成立期にあたる白鳳文化・天平文化と国家鎮護思想を考察する。 ・桓武・嵯峨朝の政治、弘仁貞観文化の特色背景を理解する。 ・藤原北家の勢力拡大と国風文化の影響を多面的に考察する。	・平城京の時代 ・律令国家の文化 変容 ・摂関政治 ・国風文化	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						1
	・寄進地系荘園などの土地制度や棟梁を中心とした大武士団が成立していく過程を理解する。 ・後三条天皇の改革、院政期文化の変化、平氏政権の滅亡、鎌倉幕府成立の経過や幕府の支配機構などを理解する。	・地方政治の展開と武士 ・院政のはじまり・平氏政権 ・鎌倉幕府の成立・武士の社会 ・モンゴル襲来と幕府の衰退	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	12
	・蒙古襲来と御家人の窮乏について関連させる。 ・鎌倉文化、建武の新政と南北朝の動乱、守護大名、室町幕府の成立と体制について理解する。 ・日本の伝統文化の原型が形成された室町文化について考察する。 ・応仁の乱以後の社会を考察する	・鎌倉文化 ・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場 ・織豊政権・桃山文化	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						1
2 学 期	・幕藩体制の確立期の社会を頼面的視点から考察する。 ・新田開発・農業技術の進歩の具体的事例をもとに考察する。 ・元禄期の経済発展と幕政の安定の構造を理解する。 ・儒学の特徴を理解する。 ・アイヌ文化の形成の理解。	・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造 ・幕政の安定 ・経済の発展・元禄文化	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。				28
	定期考査						1
	・享保の改革、田沼の諸政策と影響を考察する。・宝暦天明期の学問思想と社会の変容について理解する。・寛政の改革、天保の改革の諸政策と国内状況と国際情勢についての理解する。・化政文化について特色及び江戸と地方の文化交流について考察する。	・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕政の衰退と近代への道 ・化政文化	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	26
	定期考査						1
3 学 期	・日本史全体の流れの確認と共に史資料や地図、文化、芸術などテーマから俯瞰できる視点を養う。	・共通テスト対策	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	36
							合計 140

年間授業計画

成瀬高等学校 令和 6 年度 （第 3 学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史演習

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組 単位数： 2 単位

使用教科書：（ 詳説日本史探究 （山川出版社） ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 地域的特色と日本及び世界の歴史について理解するとともに、調査や諸資料からまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し多角的に考察し効果的に説明したり議論したりする力を養

【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に解決しようとする態度を養い、我が国への愛情、他国文化の尊重に対する自覚を深める。

科目 日本史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事情に関して地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意義などを多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象についてより良い社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国及び他国やその文化を尊重する自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・旧石器文化から農耕の発展、ヤマト政権の成立、古墳文化の特徴律令国家の仕組みや、律令制が日本の歴史に与えた影響について多面的・多角的に考察する。	・文化の始まりと農耕社会の成立 ・古墳文化とヤマト・飛鳥の朝廷 ・律令国家への道 ・問題演習	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・考古学上の見地、史資料を考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	6
	・律令国家の成立期にあたる白鳳文化・天平文化と国家鎮護思想を考察する。 ・桓武・嵯峨朝の政治、弘仁貞観文化の特色背景を理解する。 ・藤原北家の勢力拡大と国風文化の影響を多面的に考察する。	・律令国家 ・平城京と天平文化 ・平安王朝の形成 ・摂関政治と国風文化 ・問題演習	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						1
	・寄進地系荘園などの土地制度や棟梁を中心とした大武士団が成立していく過程を理解する。 ・後三条天皇の改革、院政期文化の変化、平氏政権の滅亡、鎌倉幕府成立の経過や幕府の支配機構などを理解する。	・地方政治の展開と武士 ・院政と平氏の台頭 ・鎌倉幕府の成立と武士の社会 ・問題演習	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	8
	・蒙古襲来と御家人の窮乏について関連させる。 ・鎌倉文化、建武の新政と南北朝の動乱、守護大名、室町幕府の成立と体制について理解する。 ・日本の伝統文化の原型が形成された室町文化について考察する。 ・応仁の乱以後の社会を考察する	・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化 ・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・問題演習	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						1
2 学 期	・明治の諸制度、自由民権運動の変容、大日本国憲法の意義や憲法の性格を多角的に考察する。 ・日清・日露戦争に至る経緯、戦後の日本の国際的地位の変化と対外進出について諸外国の動向と関連づけて考察する。	・開国と幕末の動乱 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立と日清戦争 ・日露戦争と国際関係 ・近代産業の発展 ・問題演習	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。				12
	定期考査						1
	・第一次世界大戦前後、昭和恐慌からの国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ・日中戦争から太平洋戦争に至る過程や戦争について考察する。 ・連合軍の日本占領、諸政策、国際情勢、冷戦構想について考察する。	・近代文化の発達 ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制と大衆文化 ・第二次世界大戦 ・占領と改革～現代の世界と日本 ・問題演習	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						1
3 学 期	・日本史全体の流れの確認と共に史資料や地図、文化、芸術などテーマから俯瞰できる視点を養う。	・共通テスト対策	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	12
							合計 70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

公民 科目 政治・経済

教科： 公民

科目： 政治・経済

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 組～ 組 必修選択科目

教科担当者： （ 組： 豊田 ）

使用教科書： （ 政治・経済（東書701） ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】進路実現に向けての基礎的・基本的知識の定着させ、探究学習のためICT等を用いる技能を習得させる。

【思考力、判断力、表現力等】社会的な課題を追究・解決する思考・判断の力と、それを的確に表現する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】広い視野に立ちグローバル化する国際社会において主体的に生きる人間性を身に付けさせる。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解させるとともに、諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する概念や理論などを活用させて、現実社会における複雑な課題を把握させ、身に付けた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想させ、構想したことの妥当性や効果などを指標に協議させるとともに、合意形成や社会参画、公正な判断を行わせ表現させる。	よりよい社会の実現を視野に、現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国民主権を担う公民としての自覚を深めさせ、自国や世界の平和と繁栄により積極的な役割を果たそうとする意識を高めさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1「現代社会の諸課題と解決のための概念や理論」 【知識及び技能】 ・人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理についての理解を踏まえ、社会のあるべき姿を構想し、多面的・多角的に考察し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて主体的に表現、判断する態度を養う。	・人間の尊厳や平等について、その背景にある生命尊重と非暴力の思想や、個人の尊重の考え方を理解する。 ・差別を是正するための取り組みとして、男女共同参画の実現のために行われている内容を理解する。 ・特に地球環境問題など、将来世代の利益を考慮した公正な意思決定について、思考実験などを活用して協働的に考察・構想し、適切に表現する。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重といった公共的な空間における基本的な原理について、「一人1台端末」を活用して主体的に理解を深める。	【知識・技能】 ・人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理についての理解を踏まえ、社会のあるべき姿を構想し、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて主体的に追究しようとしている。	○	○	○	5
	単元2「民主国家における基本原理」 【知識及び技能】 ・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保をともに進めることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて主体的に追究する態度を養う。	・政治と国家が何であるか、また民主政治の歴史的な発展と社会契約説の考え方について理解する。 ・議会制民主主義と多数決原理、民主政治の課題についての理解を踏まえ、多数決の長所と短所を主体的・対話的に考察し、適切に表現する。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して、民主主義といった公共的な空間における基本的な原理について、「一人1台端末」を活用して探究学習を深める。	【知識・技能】 ・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保をともに進めることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

単元3「日本国憲法の基本的性格」 【知識及び技能】 ・法や規範の意義及び役割など、憲法の下での適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整することで権利や自由が保障されていくことについて理解させる。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自ら具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実をもとに協働して考察・構想し、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・明治憲法下の政治機構と日本国憲法下の政治機構の相違点を理解する。 ・日本国憲法で保障される基本的人権に関する現実社会の課題について理解する。 ・立憲主義について、「一人1台端末」を活用して多面的に考察し、適切に表現する。 ・新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解するとともに、人権侵害の課題や人権の国際化の動きについて考察し表現する。 ・法の意義と役割、および我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して解決策を構想する。	【知識・技能】 ・法や規範の意義及び役割など、憲法の下での適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整することで権利や自由が保障されていくことについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自ら具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実をもとに協働して考察・構想し、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1
単元4「日本の政治機構と政治参加」 【知識及び技能】 ・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、個人や社会の紛争を調停、解決することなどにより社会の秩序が形成、維持されることについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題についての理解をもとに、よりよい社会の形成について考察・構想し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、論拠をもって表現しようとする態度を養う。	・国会の役割や権限、議院内閣制のしくみや内閣の権限、官主導社会の特徴と課題について理解する。 ・司法権の独立や裁判のしくみ、各裁判所の役割について理解する。 ・地方自治の政治・経済的な課題や都市と地方の格差の課題、それらへの対策として行われた改革について理解する。 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題に対して、思考実験等や「一人1台端末」を活用して主体的・対話的に追究し、表現する。	【知識・技能】 ・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、個人や社会の紛争を調停、解決することなどにより社会の秩序が形成、維持されることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題についての理解をもとに、よりよい社会の形成について考察・構想し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、論拠をもって表現しようとしている。	○	○	○	9

2 学 期	単元5「現代の経済社会」 【知識及び技能】 ・雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などについて理解させる。 ・市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現代的な動きについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることや，市場経済の機能や政府の役割について，思考・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体的な主題を設定し，現代の経済社会の特徴を踏まえてその主題の解決に向けて事実をもとに主体的かつ協働して考察・構想させる。	・資本主義経済の成立と経済社会の展開について理解する。 ・現代経済において株式会社の形態が多いことの原因や，企業の社会的責任（CSR）が求められていることについて考察している。 ・現代の経済社会における企業経営や株主と利害関係者の利益について理解する。 ・金融の仕組みと金融機関の役割，通貨価値の安定や景気安定のための金融政策や金融の自由化などの動きについて理解する。 ・市場経済における政府の役割と租税を中心とした公的負担の意義と必要性について，「一人1台端末」を活用して主体的に考察し，経済活動と個人の尊重をともに成り立たせることを中心に表現する。	【知識・技能】 ・雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などについて理解している。 ・市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現代的な動きについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることや，市場経済の機能や政府の役割について，思考・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な主題を設定し，現代の経済社会の特徴を踏まえてその主題の解決に向けて事実をもとに主体的かつ協働して考察・構想しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元6「経済活動のあり方と国民福祉」 【知識及び技能】 ・多様な契約及び消費者の権利と責任，社会保障の充実・安定化などについて理解させる。 ・国民福祉の向上に関する政府の役割について理解させる。 ・消費者の権利や社会保障に関する諸資料を効果的に収集しまとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済社会のあり方についての具体的な主題を設定し，その主題の解決に向けて考察・構想し，論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通してより活発な経済活動と経済社会の安定化が実現することについて，主体的に追究しようとする態度を養う。	・労働基本権と労働三法の内容や，日本の雇用形態の特徴を理解する。 ・日本の社会保障制度を諸外国との比較において理解し，少子高齢化の進行と社会保障が直面している課題を理解する。 ・2000年代以降，景気が拡大しても経済成長率が伸び悩んでいる理由について，多面的・多角的に考察する。 ・産業別の将来的な課題について情報を読み取り，それをもとに主体的に考察する。 ・消費社会の現代的な課題について問いを見出し，消費者主権や消費者の権利の観点などから「一人1台端末」を活用して協働的に考察・構想し，その内容を表現する。	【知識・技能】 ・多様な契約及び消費者の権利と責任，社会保障の充実・安定化などについて理解している。 ・国民福祉の向上に関する政府の役割について理解しようとしている。 ・消費者の権利や社会保障に関する諸資料を効果的に収集しまとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・経済社会のあり方についての具体的な主題を設定し，その主題の解決に向けて考察・構想し，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通してより活発な経済活動と経済社会の安定化が実現することについて，主体的に追究しようとしている。	○	○	○	8
	単元7「国際政治の動向と課題」 【知識及び技能】 ・国際貢献を含む国際社会における我が国の役割に関わる事柄について理解させる。 ・主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主に冷戦の展開と冷戦後の日本と世界について，具体的な主題を設定し，考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国家主権，領域，安全保障と防衛といった現実社会の課題について，主体的に追究し解決しようとする態度を養う。	・主権国家と国際社会の成り立ち，国際政治や国際法について理解する。 ・国際連合の機構とその課題，国際紛争の構造的課題について理解する。 ・国際紛争に伴う難民や国内避難民について，「一人1台端末」を活用して協働的に考察・構想し，その内容を表現する。	【知識・技能】 ・国際貢献を含む国際社会における我が国の役割に関わる事柄について理解しようとしている。 ・主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割について理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・主に冷戦の展開と冷戦後の日本と世界について，具体的な主題を設定し，考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国家主権，領域，安全保障と防衛といった現実社会の課題について，主体的に追究し解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

3 学 期	単元8「国際経済の動向と課題」 【知識及び技能】 ・経済のグローバル化と世界各地における経済的相互関係の深まりについて理解させる。 ・国際社会における貧困や格差の問題といった課題について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済活動が世界的な規模で自由に行われていることが引き起こす課題について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各国が経済的により緊密に結び付いていることを踏まえて、国際経済の課題を具体的に設定し、それらについて主体的に追究する態度を養う。	・自由貿易のメリットを、比較生産費説をもとに理解するとともに、国際収支表の内容と日本の貿易・投資の特徴と変化について理解する。 ・円高や円安が日本経済に与える影響について、輸入業者や輸出業者の具体的な取引をもとに理解する。 ・IMF・GATT体制の理解を踏まえて、公正な国際貿易体制について、「一人1台端末」を活用して協働的に考察し、その内容を表現する。 ・金融のグローバル化による資本の国際取引の活発化と国際金融の不安定性について、具体的な主題を設定し、対話的にその対応策を考察・構想する。	【知識・技能】 ・経済のグローバル化と世界各地における経済的相互関係の深まりについて理解している。 ・国際社会における貧困や格差の問題といった課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・経済活動が世界的な規模で自由に行われていることが引き起こす課題について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各国が経済的により緊密に結び付いていることを踏まえて、国際経済の課題を具体的に設定し、それらについて主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7
	単元9「世界秩序の変容と日本」 【知識及び技能】 ・地域社会市民として、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成について理解させる。 ・ともに生きる社会を築くという観点から問いや課題を設定し、その課題の解決に向けて論拠をもとに自分の考えを説明、論述させる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、これまでの学習のまとめとなる公共的な空間における基本的原理について、総合的に判断・構想し、その内容を表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個人を起点として、自立、協働の観点から、多様性を尊重し、合意形成や社会参画を視野に入れながら探究する態度を養う。	・個人およびグループで「一人1台端末」を活用し、それぞれが選択した現実社会の諸課題について、必要な知識や理解を習得する。 ・それぞれが選択した現実社会の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 ・よりよい社会の実現を視野に、それぞれが選択した現実社会の諸課題に関する多面的・多角的な考察や深い理解を通して、主体的・対話的に探究学習を深め、最適解を求める。	【知識・技能】 ・地域社会市民として、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成について理解している。 ・ともに生きる社会を築くという観点から問いや課題を設定し、その課題の解決に向けて論拠をもとに自分の考えを説明、論述させる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、これまでの学習のまとめとなる公共的な空間における基本的原理について、総合的に判断・構想し、その内容を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・個人を起点として、自立、協働の観点から、多様性を尊重し、合意形成や社会参画を視野に入れながら探究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1 合計 70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

公民 科目 倫理

教科： 公民

科目： 倫理

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組 必修選択科目

教科担当者：（ 組： 豊田 ）

使用教科書：（ 倫理（東書701）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】進路実現に向けての基礎的・基本的知識の定着させ、探究学習のためICT等を用いる技能を習得させる。

【思考力、判断力、表現力等】社会的な課題を追究・解決する思考・判断の力と、それを的確に表現する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】広い視野に立ちグローバル化する国際社会において主体的に生きる人間性を身に付けさせる。

科目 倫理

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古今東西の先哲の知的蓄積を通して、現代の諸課題をとらえ、より深く思索するための概念や理論について理解させるとともに、原典を中心とした諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報をまとめる技能を身に付けさせる。	自立した人間として他者とともにによりよく生きる自己の生き方についてより深く思索させ、現代の倫理的諸課題を解決するため、身に付けた概念や理論を活用して対話的・論理的に思考させ表現させる。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究させ、他者とともにによりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や思索を通して現代社会に生きる人間としての自覚を深めさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	単元1「人間の心のあり方」 【知識及び技能】 ・人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて理解させ、他者とともにによりよく生きる人間のあり方についての知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて多面的・多角的に考察させ、他者とともにによりよく生きる人間のあり方について思考させ表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて、自分自身に関連付けてとらえ、他者とともにによりよく生きるあり方を主体的に探究する態度を養う。	・青年期に関する現代のデータを読み取り、自らの現状と社会的な立ち位置について理解する。 ・エリクソン、ルソー、フロイトなどの原典資料から、青年期がどのような状態であるかについて理解する。 ・社会参加と自己形成の関連について、資料等を活用して多面的に考察し、適切に表現する。 ・「一人1台端末」を活用し、主体的に思考・表現する。	【知識・技能】 ・人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて理解し、他者とともにによりよく生きる人間のあり方についての知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて多面的・多角的に考察し、他者とともにによりよく生きる人間のあり方について思考し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて、自分自身に関連付けてとらえ、他者とともにによりよく生きるあり方を主体的に探究する態度を身に付けている。	○	○	○	4
	単元2「古代ギリシアの思想」 【知識及び技能】 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在に着目させ、古代ギリシアの思想における人生観、倫理観、世界観について理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集させ、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古代ギリシアの思想における人生観、倫理観、世界観について多面的・多角的に考察させ、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めさせ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古代ギリシアの思想における人生観、倫理観、世界観を手がかりに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるような態度を養う。	・古代ギリシア哲学の誕生、ソフィストの活動やソクラテスの生涯、プラトンのイデア論やアリストテレスの正義観、ヘレニズムの思想についての基礎的・基本的知識を身に付ける。 ・ソクラテスの産婆術に関するグループワークや「一人1台端末」を活用し、主体的および対話的に学習を進める。 ・社会のなかで生きるにあたって、プラトンとアリストテレスにおける徳のとらえ方を手がかりに、多面的に考察し、適切に表現する。 ・よりよい社会の実現を視野に、ヘレニズムの思想を具体的にあてはめ考えるなど、人間としてのあり方生き方についての自覚を深める。	【知識・技能】 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在に着目して、古代ギリシアの思想における人生観、倫理観、世界観について理解している。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・古代ギリシアの思想における人生観、倫理観、世界観について多面的・多角的に考察し、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深め、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古代ギリシアの思想における人生観、倫理観、世界観を手がかりに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるよう主体的に追究しようとしている。	○	○	○	5

1 学 期	単元3「宗教と社会1」 【知識及び技能】 ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について理解させ、古代ユダヤ教や原始キリスト教における人生観、倫理観、世界観について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響を、古代ユダヤ教や原始キリスト教における人生観、倫理観、世界観を手がかりに多面的・多角的に考察し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響を、古代ユダヤ教や原始キリスト教における人生観、倫理観、世界観を手がかりに考察する活動を通して、人間としての在り方生き方や世界の在り方について主体的に探究させる態度を養う。	・デュルケームの考え方や歴史的事実、古代ユダヤ教と旧約聖書、イエスの説いた神や愛の教え、パウロの思想と伝道についての基礎的基本的知識を身に付ける。 ・旧約聖書と新約聖書の比較を、「一人1台端末」を活用して得た情報を効果的にまとめ表現する。 ・イエスが説いた神と愛の教えについて、古代ギリシア思想と比較したりしながら多角的・多面的に考察し、グループ協議などで適切に表現する。 ・パウロの思想や教父哲学、スコラ哲学といったキリスト教の発展について、主体的に理解を深める。	【知識・技能】 ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について理解し、古代ユダヤ教や原始キリスト教における人生観、倫理観、世界観について理解している。 【思考・判断・表現】 ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響を、古代ユダヤ教や原始キリスト教における人生観、倫理観、世界観を手がかりに多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響を、古代ユダヤ教や原始キリスト教における人生観、倫理観、世界観を手がかりに考察する活動を通して、人間としての在り方生き方や世界の在り方について主体的に探究している。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	単元4「宗教と社会2」 【知識及び技能】 ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について、イスラーム教や古代インド思想、仏教における人生観、倫理観、世界観について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響を、イスラーム教や古代インド思想、仏教における人生観、倫理観、世界観を手がかりに多面的・多角的に考察し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響を、イスラーム教や古代インド思想、仏教における人生観、倫理観、世界観を手がかりに考察する活動を通して、人間としての在り方生き方や世界の在り方について主体的に探究させる態度を養う。	・ムハンマドの教えや歴史的背景、クルアーンとイスラーム世界、バラモン教とウパニシャッド哲学、ブッダの苦の認識や慈悲の実践についての基礎的基本的知識を身に付ける。 ・古代ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教の比較を、「一人1台端末」を活用して得た情報を効果的にまとめ表現する。 ・ブッダが説いた縁起の法の特徴について、ムハンマドの思想と比較したりしながら多角的・多面的に考察し、グループ協議などで適切に表現する。 ・部派仏教や大乘仏教の成立といった仏教の発展について、主体的に理解を深める。	【知識・技能】 ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について、イスラーム教や古代インド思想、仏教における人生観、倫理観、世界観について理解している。 【思考・判断・表現】 ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響を、イスラーム教や古代インド思想、仏教における人生観、倫理観、世界観を手がかりに多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響を、イスラーム教や古代インド思想、仏教における人生観、倫理観、世界観を手がかりに考察する活動を通して、人間としての在り方生き方や世界の在り方について主体的に探究している。	○	○	○	6
	単元5「中国の思想」 【知識及び技能】 ・日本だけでなく東アジア世界の社会思想形成に大きな影響を及ぼした、古代から中国の伝統思想における人生観、倫理観、世界観について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・東アジア世界の社会思想形成に大きな影響を及ぼした、古代から中国の伝統思想における人生観、倫理観、世界観を手がかりに多面的・多角的に考察し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・東アジア世界の社会思想形成に大きな影響を及ぼした、古代から中国の伝統思想における人生観、倫理観、世界観を手がかりに考察する活動を通して、人間としての在り方生き方や世界の在り方について主体的に探究させる態度を養う。	・諸子百家の代表的な思想や歴史的背景、孔子と儒家と儒教、老荘思想についての基礎的基本的知識を身に付ける。 ・孔子、墨子、老子の思想を比較しつつ、「一人1台端末」を活用して得た情報を効果的にまとめ表現する。 ・儒教の展開と日本や朝鮮半島への影響について、多角的・多面的に考察し、グループ協議などで適切に表現する。 ・老荘思想に代表される道家の思想について、主体的に理解を深める。	【知識・技能】 ・日本だけでなく東アジア世界の社会思想形成に大きな影響を及ぼした、古代から中国の伝統思想における人生観、倫理観、世界観について理解している。 【思考・判断・表現】 ・東アジア世界の社会思想形成に大きな影響を及ぼした、古代から中国の伝統思想における人生観、倫理観、世界観を手がかりに多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・東アジア世界の社会思想形成に大きな影響を及ぼした、古代から中国の伝統思想における人生観、倫理観、世界観を手がかりに考察する活動を通して、人間としての在り方生き方や世界の在り方について主体的に探究している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

2 学 期	単元6「近代と人間尊重の精神1」 【知識及び技能】 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在に着目させ、現代の価値観に影響を与えた西洋近代の思想、特にルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想における人生観、倫理観、世界観について理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集させ、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想における人生観、倫理観、世界観について多面的・多角的に考察させ、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めさせ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想における人生観、倫理観、世界観を手がかりに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるような態度を養う。	・ルネサンス期の思想とその展開、宗教改革に関わる歴史的事実、科学的思考に端を発する経験論と合理論、社会契約説についての基礎的基本的知識を身に付ける。 ・ルネサンス期に登場したさまざまな思想家について、「一人1台端末」を活用して得た情報を効果的にまとめ表現する。 ・ペーコンとデカルトに代表される経験論と合理論について、多角的・多面的に考察し、グループ協議などで適切に表現する。 ・社会契約説について、公共での既習事項を踏まえて主体的に理解を深める。	【知識・技能】 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在に着目させ、現代の価値観に影響を与えた西洋近代の思想、特にルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想における人生観、倫理観、世界観について理解している。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・ルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想における人生観、倫理観、世界観について多面的・多角的に考察し、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深め、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想における人生観、倫理観、世界観を手がかりに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるよう主体的に探究している。	○	○	○	7
	単元7「近代と人間尊重の精神2」 【知識及び技能】 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在に着目させ、現代の価値観に影響を与えた西洋近代の思想、特にカントとヘーゲル、社会変革の諸思想、近代の理性中心の在り方への批判における人生観、倫理観、世界観について理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集させ、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・カントとヘーゲル、社会変革の諸思想、近代の理性中心の在り方への批判における人生観、倫理観、世界観について多面的・多角的に考察させ、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めさせ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・カントとヘーゲル、社会変革の諸思想、近代の理性中心の在り方への批判における人生観、倫理観、世界観を手がかりに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるような態度を養う。	・カントとヘーゲルの思想とその展開、社会改革の諸思想に関わる歴史的背景、近代理性批判の諸思想についての基礎的基本的知識を身に付ける。 ・功利主義、社会主義、プラグマティズムを唱えたさまざまな思想家について、「一人1台端末」を活用して得た情報を効果的にまとめ表現する。 ・カントとヘーゲルに代表される主観論と客観論について、多角的・多面的に考察し、グループ協議などで適切に表現する。 ・キルケゴールやニーチェといった理性に対する批判的思想について、主体的に理解を深める。	【知識・技能】 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在に着目させ、現代の価値観に影響を与えた西洋近代の思想、特にカントとヘーゲル、社会変革の諸思想、近代の理性中心の在り方への批判における人生観、倫理観、世界観について理解している。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・カントとヘーゲル、社会変革の諸思想、近代の理性中心の在り方への批判における人生観、倫理観、世界観について多面的・多角的に考察し、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深め、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・カントとヘーゲル、社会変革の諸思想、近代の理性中心の在り方への批判における人生観、倫理観、世界観を手がかりに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるよう主体的に探究している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元8「現代の思想と人間観の問い直し」 【知識及び技能】 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在に着目させ、20世紀以降の諸思想について、従来の人間観や世界観、言語観がどのように問い直されかのかという視点から理解させる。 ・20世紀以降の諸思想に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集させ、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・20世紀以降の諸思想について、従来の人間観や世界観、言語観との違いについて多面的・多角的に考察させ、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めさせ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・20世紀以降の諸思想について、従来の人間観や世界観、言語観との違いを手がかりに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるような態度を養う。	・ハイデガーやヤスパース、サルトルの思想とその展開、現象学や実存主義の諸思想に関わる歴史的背景、近代理性批判の諸思想についての基礎的基本的知識を身に付ける。 ・フーコーなどポストモダンに分類されるさまざまな思想家について、「一人1台端末」を活用して得た情報を効果的にまとめ表現する。 ・レヴィ＝ストロースなどの構造主義について、具体的かつ多角的・多面的に考察し、グループ協議などで適切に表現する。 ・フランクフルト学派における理性についての思想について、コミュニケーションや言語論を中心に主体的に理解を深める。	【知識・技能】 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在に着目し、20世紀以降の諸思想について、従来の人間観や世界観、言語観がどのように問い直されかのかという視点から理解している。 ・20世紀以降の諸思想に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・20世紀以降の諸思想について、従来の人間観や世界観、言語観との違いについて多面的・多角的に考察し、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深め、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・20世紀以降の諸思想について、従来の人間観や世界観、言語観との違いを手がかりに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるよう主体的に探究している。	○	○	○	6

3 学 期	単元9「日本人の精神風土」 【知識及び技能】 ・ 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目させ、日本の風土と伝統などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己の関わりにおいて理解させる。 ・ 日本の風土と伝統などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるのに必要な情報を収集させ、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 日本の風土と伝統などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察させ、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を自己とのかかわりにおいて思索を深めさせ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 日本の風土と伝統などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察させ、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を自己とのかかわりにおいて探究する態度を養う。	・ 日本における仏教の展開と仏教観、儒教の影響とその展開、国学や庶民に展開した諸思想に関わる歴史的背景、幕末の諸思想についての基礎的知識を身に付ける。 ・ 奈良仏教、平安仏教、浄土教などについて、「一人1台端末」を活用して得た情報を効果的にまとめ表現する。 ・ 朱子学と陽明学に代表される日本の儒教思想の展開と思想形成について、具体的かつ多角的・多面的に考察し、グループ協議などで適切に表現する。 ・ 本居宣長など国学の思想について、「ますらをぶり」と「たおやめぶり」を中心に主体的に理解を深める。	【知識・技能】 ・ 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目し、日本の風土と伝統などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己の関わりにおいて理解している。 ・ 日本の風土と伝統などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるのに必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・ 日本の風土と伝統などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察させ、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を自己とのかかわりにおいて思索を深め、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 日本の風土と伝統などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察し、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を自己とのかかわりにおいて探究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元10「日本の近代化と思想形成」 【知識及び技能】 ・ 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目させ、近代化する日本の状況と思想形成とその変容などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己の関わりにおいて理解させる。 ・ 近代化する日本の状況と思想形成とその変容などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるのに必要な情報を収集させ、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 近代化する日本の状況と思想形成とその変容などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察させ、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を自己とのかかわりにおいて思索を深めさせ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 近代化する日本の状況と思想形成とその変容などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察させ、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を自己とのかかわりにおいて探究する態度を養う。	・ 明治維新後の欧米思想の受容、日本独自の思想の展開、大正デモクラシー後の諸思想に関わる歴史的展開、戦後の諸思想についての基礎的知識を身に付ける。 ・ 西田哲学の特徴について、「一人1台端末」を活用して得た情報を効果的にまとめ表現する。 ・ 内村鑑三や新渡戸稲造に代表される日本のキリスト教思想の展開について、具体的かつ多角的・多面的に考察し、グループ協議などで適切に表現する。 ・ 丸山正男や柳田邦夫など戦後のさまざまな思想家について、戦後日本の政治の歴史と地域における伝統文化を中心に主体的に理解を深める。	【知識・技能】 ・ 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目し、近代化する日本の状況と思想形成とその変容などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己の関わりにおいて理解している。 ・ 近代化する日本の状況と思想形成とその変容などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるのに必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・ 近代化する日本の状況と思想形成とその変容などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察し、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を自己とのかかわりにおいて思索を深め、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 近代化する日本の状況と思想形成とその変容などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察し、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を自己とのかかわりにおいて探究している。	○	○	○	7

	単元１１「国際社会に生きる日本人としての自覚についてのテーマ学習」 【知識及び技能】 ・第１編で学習した事項を基盤として、生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、戦争と平和の中から１つテーマを選ばせ、主体的な考察に必要な事項について理解させる。 ・テーマを選ばせ、国際社会に生きる日本人としての観点から問いや課題を設定するために必要な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・テーマを選ばせ、自ら問いや課題を思考させ、それについて多面的・多角的に考察・構想させ、その内容を表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テーマを選ばせ、自ら設定させた問いや課題について、他者との対話を踏まえて自らの思考・判断を振り返り調整させながら、主体的に探究する態度を養う。	・個人およびグループで「一人１台端末」を活用し、それぞれが選択したテーマについて、必要な知識や理解を習得する。 ・それぞれが選択したテーマについて、必要な情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 ・国際社会に生きる日本人としての観点を踏まえ、それぞれが選択したテーマに関する多面的・多角的な考察や深い理解を通して、主体的・対話的に探究学習を深め、最適解を求める。	【知識・技能】 ・第１編で学習した事項を基盤として、生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、戦争と平和の中から１つテーマを選び、主体的な考察に必要な事項について理解している。 ・テーマを選び、国際社会に生きる日本人としての観点から問いや課題を設定するために必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・テーマを選び、自ら設定した問いや課題を思考し、それについて多面的・多角的に考察・構想し、その内容を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・テーマを選び、自ら設定した問いや課題について、他者との対話を踏まえて自らの思考・判断を振り返り調整しながら、主体的に探究している。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
							合計
							70